



セキュリティ・キャンプ°三二

2026（東京開催）

振り返りレポート

セキュリティ・キャンプ2026ミニ（東京開催）実施概要

2026年4月25日（土）～4月26日（日）

東京都立産業技術高等専門学校 品川キャンパス

共通講座 プログラム

2026年4月25日（土）

13:00～13:10 『オープニング』 『セキュリティ・キャンプ紹介』

13:10～14:10 『未来のICT人材が知っておくべき法律と倫理』

中村 祐介 氏 東京地方検察庁 検事

14:10～14:20 宣誓書記入

14:20～14:50 写真撮影、移動休憩

14:50～15:00 アイスブレイク



<https://www.security-camp.or.jp/minicamp/tokyo2026.html>

セキュリティ・キャンプ2026ミニ（東京開催）実施概要

専門講座 プログラム

2026年4月25日（土）

15:00～17:30

【Aトラック】『Infostealerの手法と対策を学ぼう』

渡邊 雄大氏 九州大学

【Bトラック】『AIエージェント時代のサイバー防衛入門 -攻撃を「守り」に変換する実践ワークショップ』

齊藤 義人氏 株式会社ブロードバンドセキュリティ



<https://www.security-camp.or.jp/minicamp/tokyo2026.html>

セキュリティ・キャンプ2026ミニ（東京開催）実施概要

専門講座 プログラム

2026年4月26日（日）

9:30～12:00

【Aトラック】『DNS通信を用いた情報の持ち出しと対策を考えてみよう』

近藤 匠氏 株式会社オプテージ

【Bトラック】『DNSサーバを書いて学ぶ：可観測性とデータ持ち出し対策』

砂川 真範氏 株式会社ブロードバンドセキュリティ

13:00～15:30

【Aトラック】『OAuth 2.0 / OpenID Connectの

セキュリティ・ベストプラクティスと実践的防御対策』

倉林 雅氏 OpenIDファウンデーション・ジャパン

【Bトラック】『AIエージェント時代のサイバー防衛入門

-攻撃を「守り」に変換する実践ワークショップ』

（前日から引き続き）

齊藤 義人氏 株式会社ブロードバンドセキュリティ

15:30～16:00 『クロージング』

<https://www.security-camp.or.jp/minicamp/tokyo2026.html>



セキュリティ・キャンプ2026ミニ（東京開催）実施概要



参加学生数

42名（**A**トラック**25**名、**B**トラック**17**名）

きっかけ

※複数選択可

参加回数

1位

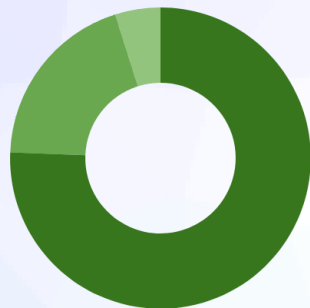
先生・友人紹介
(25名)

2位

SNS (17名)

3位

HP (15名)



● 初めての参加 ● 2~3回目の参加 ● 4~5回目の参加



今回のセキュリティ・キャンプ2026ミニ（東京開催）では、初参加の受講生が多いなか、講義や演習を通じて互いに刺激を受けながら学ぶ姿が印象的でした。法律・倫理に関する共通講義や各専門講座の実践的なテーマを通じて、セキュリティへの理解を深め、今後の学習や全国大会への挑戦につながるきっかけにもなりました。

【(全トラック共通) 講義 1】

中村 祐介氏 東京地方検察庁 検事

『未来のICT人材が知っておくべき法律と倫理』

講義内容

サイバー関連犯罪に関する刑法や不正アクセス禁止法を中心に、刑事実務に携わる検察官の立場から解説いただきました。

受講生の声

- 今学んでる技術に対する法律について詳しく学ぶことができよかった。新しい技術を開発することは倫理的に正しいかどうか見極めるのは難しいと思った。
- 現職の検察官の方が直接お話して下さり、大変貴重な経験だったと感じた。
- 最先端技術を発展させるうえでの重要な法律や倫理観を知ることができた。法律を知ることは将来にも役に立つと思い、この講義があることは、セキュリティを勉強する以前にとっても必要だと感じた。
- 法学部で学んでいることもあり、ICTと法律の接点には以前から関心がありました。技術的な規制の難しさや、法整備が技術の進化に追いつかない構造的な問題を改めて整理できました。



【(Aトラック) 講義2】

渡邊 雄大氏 九州大学

『Infostealerの手法と対策を学ぼう』



講義内容

どのように情報を収集し外部へ持ち出すのか、内部構造と動作原理、対応策を学び、シェルコマンド等を経由した侵入・認証情報の窃取・C2サーバー等へのデータ送信までの一連の流れをハンズオンで体験しました。

受講生の声

- **wireshark**によって通信内容が見られ、暗号化していても**python**で作ったツールなどを使うと簡単にセッショントークンを入手できてログインに成功してしまう流れを学ぶことができた。初期侵入を防ぐには何重にも対策が必要だと実感した。
- **Infostealer**は、名前しか知らなかったのが、攻撃されやすい点、効果、され方を学べた。また**Wireshark**の使い方が前はよく分からなかったのが、簡単に使えるようになった。
- 事前の環境構築などかなり戸惑い、時間もかかったが講師の方の説明も分かりやすかった。初日で緊張していたこともあったが、ハンズオンも楽しむことができた。
- サイバー攻撃の流れを体感しながら学べたので理解が深まった。

【(Aトラック) 講義3】

近藤 匠氏 株式会社オペテージ

『DNS通信を用いた情報の持ち出しと対策を考えてみよう』



講義内容

DNS通信の仕組みを理解し、制限されたネットワーク環境下でも情報漏洩が起こる背景や、その対策について学びました。

受講生の声

- DNS通信を用いた情報窃取と対策について学べた。情報の持ち出しはドメインにbase64でエンコードしたものを書き込み、base64でデコードすることで情報を持ち出すことができた。これらの対策としてエントロピーを用いて対策することが効果的と学んだ。base64でエンコードしているとエントロピーが高くなるため遮断する判断材料になることが学べた。
- DNSでの通信による情報の持ち出しがあることについて知ることができた。ハンズオンでコードを自分で書く際に難しく感じたが、チューターの方が丁寧に教えてくださりよかった。
- ざっくりと知っていた程度だったのでいろいろなことを新たに知ることが出来ました。

【(Aトラック) 講義4】

倉林 雅氏 OpenIDファウンデーション・ジャパン

『OAuth 2.0 / OpenID Connectのセキュリティ・ベストプラクティスと実践的防御対策』



講義内容

ハンズオンを通じた認証・認可の正しい使い方や実装、脆弱な実装に対して修正コードを適用しながら対策を学びました。

受講生の声

- 認証・認可の仕組みを初めて詳しく学ぶことができた。トークンを窃取することで他人に成りすましてログインする方法を技術的に学べてよかった。
- OAuthとOIDCについて座学で色々な話を聞いた。全然知らないことばかりだし論理的に考えられた努力の結晶という感じがして面白かった。
- 普段何気なく使っているOAuth2.0について、ハンズオンにて実践的にできて、よかった。最初のOAuth2.0やOpenID Connectの説明で全体的に知ることができた。
- 事前課題が難しく準備に手間取ったがなんとかついていくことができた。内容はとても面白かった。

【(Bトラック) 講義2】

齊藤 義人氏 株式会社ブロードバンドセキュリティ

『AIエージェント時代のサイバー防衛入門 -攻撃を「守り」に変換する実践ワークショップ』



講義内容

Webアプリケーションの脆弱性を題材に、攻撃の再現からログ分析、検知ルール作成、是正確認までを一貫して体験しながら学びました。

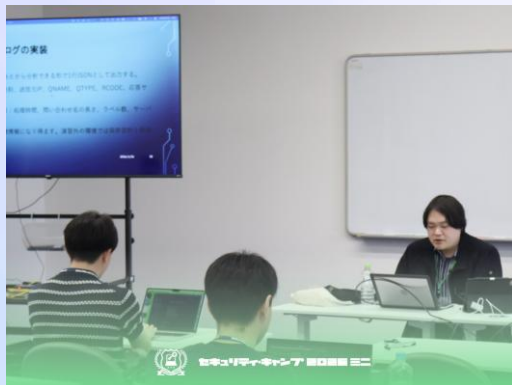
受講生の声

- LLMを攻撃ログから防御に適用するフレームワークから、実際どのようなログがあるとよいのか、どのようなルールが必要であるいはクリティカルな場合にはどのような対応が求められるのかについて知見を得ることができ非常に有益であったと感じた。
- LLMエージェントの構築方法、どこをLLMで人間がどこを確認しないといけないかなどを学べた点がよかったです。
- SQLiやXSS、IDORなど、代表的なウェブアプリケーションに対する攻撃の防御方法について、すべてを防ぎきることができなくとも、クリティカルなものを特に防ぐことが重要であり、その実装のためにWAFのみならずAIエージェントのアナライズ等が活用でき、AI時代の防御方法の感覚をつかむことができた。

【(Bトラック) 講義3】

砂川 真範氏 株式会社ブロードバンドセキュリティ

『DNSサーバを書いて学ぶ：可観測性とデータ持ち出し対策』



講義内容

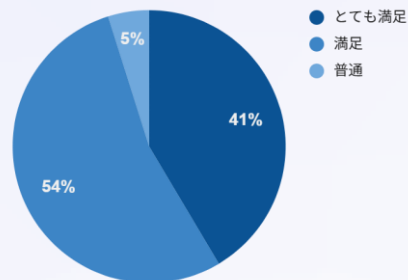
DNSの基礎とログから分かる情報を理解し、DNSコンテンツサーバや可観測性向上のためのDNSクエリ構造化ログ実装を通じて、異常検知の観点や運用上の対策を学びました。

受講生の声

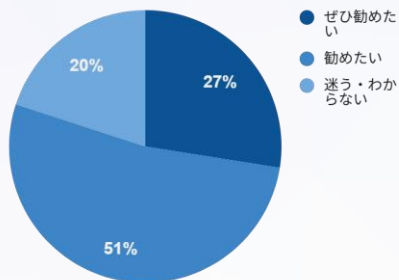
- RustでDNSサーバを実装する体験は難しかったですが、パケット構造や構造化ログの設計、DNSトンネリングによるデータ持ち出しの仕組みを手を動かしながら理解できました。
- 今回のミニキャンプで初めてRustを書き、少し個人的には難易度を高く感じていたが、それだけに多くのことを学べたと思う。この後家に帰ってから、自分で再度簡易的なDNSの実装を試してみようと思う。
- dnsサーバーをまず作ったことがないので、大変勉強になりました。dnsサーバーのログの取得の方法などもしれ、全国大会の課題挑戦や普段のセキュリティの勉強になんらかしらいかせたら嬉しいなと思いました。

事後アンケート

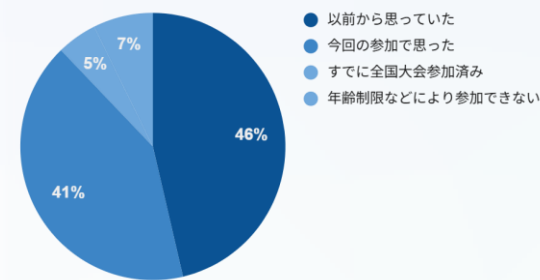
全体の満足度



受講を友人に勧めたいですか？



全国大会に参加してみたいと思いましたか？

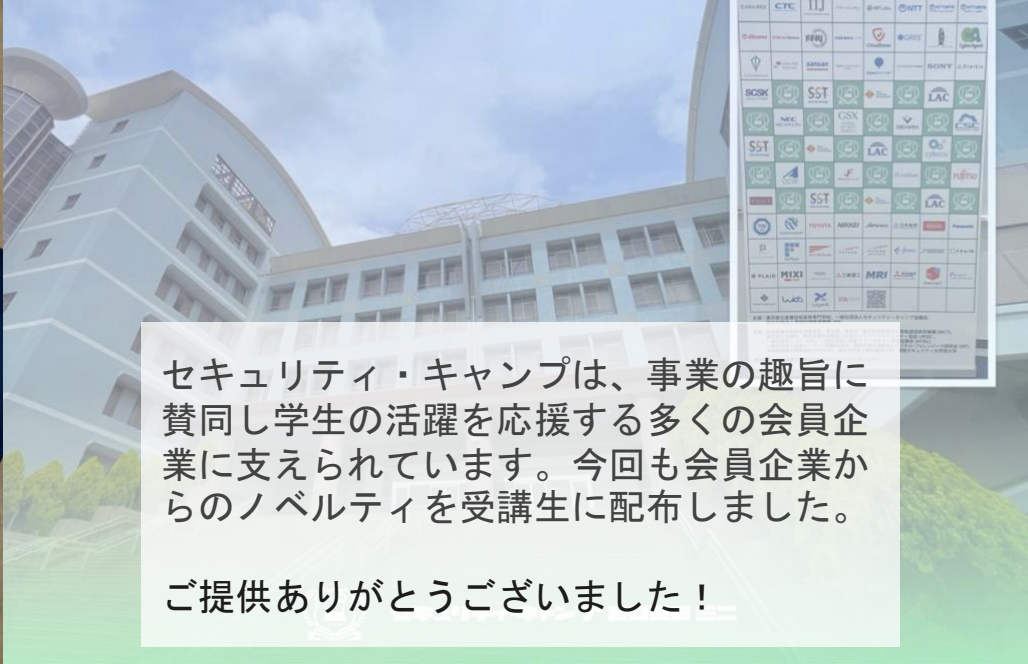


※有効回答のみ集計

受講生の声

- 実践経験がある講師の方から直々に教えていただけるととても貴重な体験ができてとても勉強になった。今回得た知識を今後の活動に活かせるように頑張りたいと考えた。
- 基礎的な知識から説明していただいたので、知識がなくても理解することができた。
- 実際に技術者の方々から技術についてハンズオンしたりしながら学べたので、セキュリティの面白さなどを感じることができた。実際手を動かすことで場数、貴重な経験を積めて良かった。

次回の参加もお待ちしています！



セキュリティ・キャンプは、事業の趣旨に賛同し学生の活躍を応援する多くの会員企業に支えられています。今回も会員企業からのノベルティを受講生に配布しました。

ご提供ありがとうございました！



公式Webサイト・SNS

-  <https://www.security-camp.or.jp/>
-  https://x.com/security_camp
-  <https://www.facebook.com/seccampjapan>
-  <https://www.youtube.com/user/securitycampjapan>
-  <https://blog.security-camp.or.jp/>